

授業科目名	教育制度論
科目番号	CB24011
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB 木1,2
担当教員	藤井 穂高
授業概要	今日、さまざまな教育改革が行われているが、ではどのような学校教育が望ましいのか。本講義では、「学校教育制度をつくってみる」という観点から、学校教育を構成する主要な制度的要素を取り上げ、現行制度の根拠とその改革の可能性を検討する。
備考	社会教育主事 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学的実践力、教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の主な制度的要素について、現行の仕組みがなぜそうなっているのかを説明できる。 ・教育改革における主な論点の意義がわかり、自分なりの考え方が持てる。
授業計画	<p>今日、さまざまな教育改革が行われているが、ではどのような学校教育が望ましいのか。本講義では、「学校教育制度をつくってみる」という観点から、学校教育を構成する主要な制度的要素を取り上げ、現行制度の根拠とその改革の可能性を検討する。</p> <p>第1回 学校教育の制度論とは(オリエンテーションも含む。)</p> <p>第2回 学校教育の制度論とは2</p> <p>第3回 学校教育目的の制度論</p> <p>第4回 学校教育目的の制度論2</p> <p>第5回 学校配置の制度論</p> <p>第6回 学校配置の制度論2</p> <p>第7回 学校教育時間の制度論</p> <p>第8回 学校教育時間の制度論2</p> <p>第9回 教育課程の制度論</p> <p>第10回 教育課程の制度論2</p> <p>第11回 生徒指導の制度論</p> <p>第12回 生徒指導の制度論2</p> <p>第13回 教授学習組織の制度論</p> <p>第14回 教授学習組織の制度論2</p> <p>第15回 教職員の制度論</p> <p>第16回 教職員の制度論2</p> <p>第17回 学校から職業への移行に関する制度論</p> <p>第18回 学校から職業への移行に関する制度論2</p> <p>第19回 教育行政の制度論</p> <p>第20回 教育行政の制度論2</p> <p>第21回 試験</p>
履修条件	
成績評価方法	毎回の報告(30%)、議論への参加(20%)、試験(50%)を総合して評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	毎回のエキスパート活動として、A41枚程度の報告を作成すること。

教材・参考文献・配付資料等	なし。授業の資料については、毎回の講義の際に配布する。 参考文献についても毎回の配布資料に明記する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	月曜、木曜、金曜の4限
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	授業の半分程度は受講生が自分なりに考えて行く形をとるので、そうした授業形態に積極的に参加できる意欲をもっていることが望ましい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	教育制度，教育改革